

「民間木造住宅耐震改修」に関するアンケートの結果について

【実施概要】

- (1) 実地目的：民間木造住宅の耐震化に関する施策の参考とするため
- (2) 対象者：民間木造住宅耐震改修費等補助金（耐震改修工事）を活用され、既に住宅の耐震化が完了している方
- (3) 対象人数：320名
- (4) 実施期間：令和6年12月24日～令和7年1月17日
- (5) 回答率：回答数167 回収率52.18%

質問1 耐震改修を行った時点の年齢を教えてください。

回答	回答数	割合
30歳未満	0	0%
30歳以上40歳未満	1	1%
40歳以上50歳未満	10	6%
50歳以上60歳未満	32	19%
60歳以上70歳未満	75	45%
70歳以下80歳未満	39	23%
80歳以上	10	6%

質問2 改修を行うきっかけになったことは何ですか？（一つだけに○）

回答	回答数	割合
耐震診断の結果が悪く、心配になったため	45	27%
工事見積費用が想定よりも低く、自己負担額が抑えられたため	9	5%
地震の報道等を観たため	48	29%
家族、知人に勧められたため	6	4%
市職員や診断員に勧められたため	8	5%
元々リフォームを予定しており、それに合わせて耐震補強をしたため	38	23%
その他・無回答	13	8%

質問3 改修業者はどのように探しましたか？（一つだけに○）

回答	回答数	割合
家から近い地元業者から選定	28	17%
住宅診断を行った診断員から紹介	41	25%
市役所で実施している無料相談会から紹介	12	7%
あいち耐震改修推進事業者リストから選定	10	6%
自分でインターネット等の各種メディアにて情報収集を行い選定	6	4%
知人や元々付き合いのある業者に施工してもらった	53	32%
その他・無回答	17	10%

質問4 耐震改修をするにあたり、苦勞した点を教えてください。(一つだけに○)

回答	回答数	割合
改修工事費を抑えるため、業者と相談や交渉をした	33	20%
工事業者選びに難航した	7	4%
耐震改修補助金申請や完了検査時の立会等、補助金申請の手続きが負担になった	14	8%
耐震改修の工事内容を理解するのに苦勞した	19	11%
工事中の音や、作業に伴う引っ越し等が負担になった	32	19%
診断や工事を進めるに当たり、相談相手がおらず負担になった	2	1%
その他・無回答※	60	36%

※苦勞した点はない、等

質問5 ご自身の経験から、木造住宅の耐震化を促進するため、どのような制度があると効果的と考えますか？(あてはまるものに✓をつけてください。)

・耐震改修工事費に係る補助金の充実

回答	回答数	割合
効果的	123	74%
やや効果的	22	13%
どちらでもない(分からない)	13	8%
やや効果的ではない	2	1%
効果的ではない	2	1%
その他・無回答	5	3%

・耐震化に関する総合相談窓口の創設

回答	回答数	割合
効果的	69	41%
やや効果的	50	30%
どちらでもない(分からない)	32	19%
やや効果的ではない	3	2%
効果的ではない	0	0%
その他・無回答	13	8%

・建築士による無料相談会の実施

回答	回答数	割合
効果的	71	43%
やや効果的	48	29%
どちらでもない(分からない)	29	17%
やや効果的ではない	1	1%
効果的ではない	1	1%
その他・無回答	17	10%

・安価に工事ができる耐震工法の啓発

回答	回答数	割合
効果的	81	49%
やや効果的	48	29%
どちらでもない（分からない）	28	17%
やや効果的ではない	0	0%
効果的ではない	0	0%
その他・無回答	10	6%

・ SNS 等のインターネットを活用した情報発信

回答	回答数	割合
効果的	22	13%
やや効果的	39	23%
どちらでもない（分からない）	73	44%
やや効果的ではない	4	2%
効果的ではない	3	2%
その他・無回答	26	16%

・ 3D シミュレーションで改修前、改修後の地震時の家の揺れ方の状況を周知

回答	回答数	割合
効果的	57	34%
やや効果的	47	28%
どちらでもない（分からない）	38	23%
やや効果的ではない	3	2%
効果的ではない	1	1%
その他・無回答	21	13%

・ 診断から改修までの流れが分かる耐震総合パンフレットの創設

回答	回答数	割合
効果的	41	25%
やや効果的	60	36%
どちらでもない（分からない）	44	26%
やや効果的ではない	4	2%
効果的ではない	1	1%
その他・無回答	17	10%

・ 工事費を抑えるために、詳細な診断、設計を行う費用を補助する制度の創設

回答	回答数	割合
効果的	77	46%
やや効果的	53	32%
どちらでもない（分からない）	22	13%
やや効果的ではない	0	0%
効果的ではない	0	0%
その他・無回答	15	9%

質問6 最後に、今後耐震改修をするか迷われている方に、耐震改修を実施した経験から、一言メッセージがあればお願いします。(自由意見)

- ・30年以上前の事で当時の事をはっきりと覚えていない。
- ・耐震改修を実施したのは、旧母屋です。(現在は、長男家族が同居することで、軽量鉄骨造に建てかえて約10年になります。)旧母屋に在住中は安心できました。また、旧母屋とは別に離れの耐震診断を平成24年に受けましたが、申請手続きが、複雑なのと、補助金が少ないため放置したままです。
- ・費用とも相談ですが、改修工事をすれば、まずは、安心だと念ずることです。
- ・いくらかの費用負担があるとしても、耐震改修は実施しておくべきです。
- ・居住者が、地震に対してどれだけ恐怖心があるかによって考え方が変わります。その判断で改修すれば良いと思います。
- ・ちょっと安心。震度1なら1階にいる時は、揺れを感じない。
- ・実際に地震の折どれほど効果があるのか、全くわからない。建物だけでなく土地の具合がどれほど軟弱かいなかを調べることはなかったなので、それも追加してほしい。
- ・木造住宅では木造の改修工事しかダメというのは本当に耐震したくても鉄骨はダメとのこと。この規制はやめてほしい。
- ・地震が起きたり他地区で被害があったりして常に不安の状態が続く。費用がかかってもやっておくことで安心して過ごせる。やらない不安からやって安心になる。
- ・父が亡くなっている為あまりくわしくはわからなかったです。
- ・もっとくわしく知りたい。
- ・少しでも「安心・安全」という気持ちが持てると思います。
- ・補助金制度を考えてください。(増額)
- ・20年程前かと思いますが、耐震改修費180万円のところ60万円補助していただき、たいへん助かりました。現在80代の老夫婦2人暮らしです。家屋も50年以上たち、老朽化がすすみ、どうしたものか悩んでいます。何か良い方法はないでしょうか？
- ・南海トラフ地震の発生が近づいており、耐震改修は必要だ。身の安全は自分で守ろう。
- ・耐震工事を最初の頃20年前近くにしてあります。一応気持ち的に安心しています。補強は、心強いですが、思ったより費用もかかりました。耐震して行くうちに、簡単に思っていたが、土台から軽い屋根瓦他に替えて今のところ安心して生活しています。
- ・能登の被害で家の構造と命と関連があり、古い構造では揺れが長かったり次の揺れでは崩れてしまう。木造は好きなのに弱いのか、命をまもるシェルターがほしい。
- ・出来るだけ早く改修工事をする事で気持ちが楽になります。
- ・最近の震災被害を目にすると早く行えば安心する。いつも不安でいるより実施した方が良い。
- ・制度利用を！
- ・耐震改修しましたが、業者選びに失敗し、業者のやりやすい工事になり、我が家は基礎のヒビ割れが大きくなり、数もふえ不安が増すばかりです。どこに相談すればよいでしょう。補助金申請の手続きも有料との説明はなく、やってあげると言われ、後で代金をとられてるようです。
- ・耐震改修しておけば、地震の時安心です。
- ・一番思った事は、安心感です。何度かの地震の時でも心理的にストレスも軽く過ごす事が出来ました。考え始めたのは、阪神大震災後の新聞での「耐震補強」の重要性を読んだ事です。耐震診断と補助金には、とても有難く感じました。
- ・100%とまではないが、安心感が大きい。
- ・最近の耐震対策の出来ている住宅なら良いが、基準を満たしていないものなら、それは改修をやった方が良い

と思う。

- ・耐震工事がどれだけ有効なのか？業者も含めて・・・地震が来ないとわからない！
- ・改修工事 1～2 年後基礎のコンクリートに穴が空いているのを見つけた。東日本大震災のあとで、大地震のあと、何度も予震が来るのを知ったので、穴の空いた基礎は直しても、何度も来る地震には耐えられないだろうと思った。耐震改修の相談に行った時、築 30 年の建て売りだと言ったら、余裕があれば建て直した方が良いと言われた。
- ・高齢になっても住み続けられるリフォーム工事の一環と考える。
- ・古い家なので耐震改修以前は地震が発生すると怖いぐらい揺れましたが、耐震改修後は、そんなに揺れなくて安心です。迷われている方には是非やられると安心できますよと申し上げたいですね。
- ・自分の身を守りたいなら行くとよい（費用もかかるから、決断がにぶるかも知れませんが）
- ・揺れを感じる事が少なくなった。安心感増した。
- ・もし迷われている方がみえるなら、是非耐震改修をおすすめします。私は耐震工事のついでにバリアフリー化と一部リフォーム工事を行い、車いすも苦になりません。高齢化になってやっておいて良かった・・・と思います。「耐震だけと思わず耐震化と〇〇又は△△と一緒にやる」と云う思いが必要。
- ・信頼できる工事業者選びが難しい。
- ・小牧は比較的に地盤が良いとされていますが、南海トラフ地震が起きた時には震度 5 強～6 弱が想定されます。これは相当揺れます。地盤がよいことに惑わされず命を第一に、許す限りの予算で耐震化をすれば日々の生活の上で安心感が得られます。
- ・古い家なので、これで完全とは思いませんが、折角の機会なのでやって頂いて良かったと思っています。
- ・実際に経験していないので、耐震改修の効果の有無は判定し難いが、改修するに越した事はない。問題は数ある改修業者の選択にあると思います。我々は良い業者を紹介してもらったと思っています。まわりで聞くと業者選びが難しかったと（特に金額）聞いています。
- ・昨今地震がどこ問わずよく発生してます。耐震改修をして安全対策をして少しでも被害を少なく安全に日々を送れる様、是非耐震に向き合う事に関心をそそぐべきです。
- ・安心安全な暮らしが得られます。
- ・屋根瓦が重いということで軽量なものに替えましたが、見た目安っぽい感じになって、家の価値が低くなった気がします。
- ・平成 23 年に工事をしたが、その後耐震基準が変わったと記憶しているが？
- ・耐震改修を実施したという安心感があります。
- ・お隣は、震度 7 がきたらどうせこわれるのだからと言ってやっていない。「震度 6 だったらやっておけば倒れないのに、やってなかったからこわれた」と後悔しないようにと言ってやりたかったがやめた。
- ・家を建てる際に地震マップをよく見てきめる。
- ・自分の大切な家だから気なるなら診断して欲しいです。築年数も古く、柱の数も少なく基礎工事も浅いと思いますので、レベル 1.0 以上になれば安心です。
- ・工事は完了したが、実際地震の規模によるが、どの程度改修工事の効果があるか不明である。
- ・予算が許せば実施した方がいい。
- ・現在が完璧かどうか分かりませんが、良心的な業者選びが必要だと思います。
- ・耐震改修は、未来の財産保護（人・住宅）と思う。減災対策より予防保全を進めるべきである。地震後の対策より、地震前の対策に最重点を置くべきと考えます。
- ・信頼できる業者かどうか見極める力がないため、市の推薦状等があると安心できます。
- ・実際に地震が起こってみないと、どのくらい家が丈夫なのかわかりませんが、耐震改修をやったことで、少し安心感があります。補助金制度を活用できたので、ついでに悪い所も直す事ができました。
- ・迷いがあるかもしれないが早くやった方がいいと思います。

- ・耐震工事の実施と工事のサイクルの視客化が明確化されていると良い。
- ・安心感がある。
- ・数社で詳しい説明を受ける事が必要です。
- ・日常少しは安心して暮らせる様になった（一人暮らしになったため）
- ・耐震工事してから地震があった時に、はっきり効果ある事が分かりました。
- ・耐震改修を実施し、安心感を得ることができました。
- ・地震で死にたくないの、最悪家が倒れる事のないよう耐震が必要（特に古い家は）と思っています。
- ・現在の補助金ではまったく耐震補強の金額にはたりない。
- ・工事をされた方が心が安心出来るし、市の負担が適切であった。
- ・補助金90万円頂き、自分の持ち出しは約210万ぐらいかかりました。出費はかなりかかりましたが、（トータル300万くらい）この機会におもいきって工事出来て安心して、して良かったと思っています。
- ・工事完了後5年位にて、鉄骨系に建直しをしましたので、非常にもったいない経験をしました。家族内で話し合いを充分にして下さい。
- ・古い建築物ですので、工事実施により、少しは安心して生活出来るようになりました。
- ・迷わずに市の補助金を利用し即実行する。
- ・工事をして12年程経過しております。その間小牧では大きい地震はありませんので、工事の恩恵を感じずにすごしております。工事ができたことを小牧市に感謝しております。工事してあれば逃げ出す時間があるので、倒壊しても命は助かると思われます。
- ・木造住宅の場合、56年以前に建築した物件に耐震補強の補助金が受けられるという制約がありますが、是非施工して安心を！！
- ・耐震工事をしないと、万が一の時に命と財産が失われる事が有る事と、万が一でなく明日にも起こる。
- ・信頼できる工事会社の選定。
- ・思っていたより自分の負担は少なく、ほとんどおまかせで完了しましたので助かりました。
- ・東日本、石川県能登半島の地震を見て、明日は我が身と考えました。南海トラフも近々起こる可能性があり、耐震工事を実施しました。家を建て替えると大金がかかりますが、耐震工事なら、それほどの費用はかからないため、おすすめします。
- ・耐震改修前は揺れが酷かったですが、耐震改修後は、揺れが軽減されました。
- ・耐震改修工事をやって頂いた〇〇建設がとても良心的で、ついでにリフォームもお願いしました。
- ・すぐ連絡が取れる、実績のある業者を選ぶと良いかも。
- ・耐震改修は思っていたより費用もかかり補助金のごく一部である。改修を進める上で、ある程度工事費用の目安（たとえばこれを改修するにはどれくらい費用がかかる）というおおまかなシミュレーションとかのパンフレットがあると良いと思う。
- ・古い家ですので、耐震改修をしたから絶対安心ということはありませんが、少しは気持ちにゆとりが出来たかなと思います。
- ・まずは安心の為には、一歩踏み出すことです。「〇〇〇〇」にすべてお任せでスムーズに行きました。リフォームを考えているなら耐震改修は入れてもらうべき、1.0以上を目指せ！
- ・お世話様になり有難うございました。
- ・今後発生する恐れのある東南海地震の対策として築年数の古い家は耐震診断が必要です。
- ・耐震改修後、大地震が起きた時、建物が倒壊しない訳ではなく逃げる時間が出来ると業者から言われたことが印象的でした。南海トラフ地震が叫ばれる中、以前よりは少し安心感がある。
- ・家のことは何もわからないので、市の無料診断の人その人に頼んだ。
- ・自分の身の安全を守るために必要です。又、同時に断熱材の設置等のリフォームを実施すれば快適な居住スペースになります。

- ・リスク軽減となり安心感が続いている。
- ・耐震改修を行うと少しは安心できると思います。
- ・施策に感謝感謝です！！地震大国の日本では悔いの無い予防策が大切ですから。昨年11月18日小牧市から長野県へ転居しました。小牧市に謝意を表し御発展を祈念いたします。
- ・経費（工事費）の解決。
- ・地震が起こってからでは遅い。お守りのつもりで耐震工事を行いました。
- ・信用できる業者を見つけ相談するのが良い。市の相談窓口で相談し、耐震工事の内容を理解した上で業者に相談するのが良い。
- ・まず市役所か業者に話してみる。引越し不用、家具を移動ただけで済みました。大きい地震等なく効果はまだわからないが、一応安心はしてます。
- ・日本中地震列島、明日自分があうかも知れない。テレビで被害者の方々の大変さ、周り的大変、なのでできることは、自分でもしておいた方がよいと思いました。
- ・「安心」のひとつです。考えている方は一刻も早く工事をされることを勧めます。
- ・市の予算の関係上改修を始めるまで1年以上待ちました。早めに申し込みすれば良かったと思います。
- ・耐震工事が完了した事が多少の安心感がある。
- ・工事作業に伴う引越、部屋の荷物の大型家具の移動等人手が足りない。ついでに不用品を同時に整理したいが、その費用と運搬等の手助け。（私は助けてもらいありがたかった。）本音で耐震改修の必要性を感じなかったのに踏み切り費用の割に安心感を得られていない。
- ・耐震診断を活用すべきです。
- ・耐震改修をすればある程度安心感が得られる。
- ・今すぐ耐震工事を実施する事を進めます。明日地震が来てからでは遅いです。
- ・申請をしてから工事を始めるまでの期間が長すぎて、思っていた時期に改修工事が出来なくてがっかりした。
- ・耐震改修を考えている人は結局「いくらかかるか」だと思う。補助金+αで必要十分な補強が出来ることをPRできれば、取り組む人も増えると思う。そのためにも安価で効果のある耐震工法についても必要と思う。
- ・耐震工事をしていても、地震が発生した時どの程度の被害にあうかわからないが、していないより安心感はある。工事前後、荷物の引越し（移動）に多大な労力があるので、少しでも体力・気力のあるうちにしておいた方がいい。耐震改修補助金制度を活用し同時にリフォームをしておくことで新しい環境で生活できるので、その後の人生をより快適に過ごせると思います。
- ・耐震改修を実施していることにより、テレビ、新聞報道で震災報道を見たり聞いたりする時安心していることが多い。但し大震災の時に今回の耐震補強で絶対大丈夫でないため、どのようにしたらよいか不安がくる。（我が家の地盤が軟弱地盤であるため）
- ・診断者からの紹介業者が偶然地元の知り合いの建築業者だったので、スムーズに話が進んだので良かった。
- ・旧の耐震診断結果に不安があり、リフォームの際に会社と相談し、新たに耐震診断をして改修を決断した。リフォームの費用は増えたが、耐震改修をして安心感が有る。
- ・補助金100万円非常に魅力的であった。この制度のおかげでその気になったし、大きな結果が得られてとても感謝している。
- ・安心で暮らしています。ありがとう。
- ・震度5まではOKといわれましたが、それでいいのかわかるか？
- ・工事費が300万弱のところ100万の補助で本当に助かりました。わが家は築60年位でしたが障子・フスマが多く耐震には向いていませんでした。わが家を下見希望があればOKです。
- ・工事後の安心感はとても大きいです。迷わずもっと早くやればよかったと思っています。
- ・耐震改修の後、能登半島の地震があり、安心する事ができました。
- ・大地震に備え、安心して住める家に早急に対応した方が良い。

・古くに建てた家には、とてもありがたいです。ぜひ勧めたいと思います。やって良かったです。！！

アンケートのご協力ありがとうございました。頂きました意見は民間木造住宅の耐震化に関する施策の参考とさせていただきます。

